



ほけんだより

令和2年11月26日

川前小学校

保健室だより No. 9

朝晩の寒さが厳しくなり、本格的な冬の到来を感じています。教室ではストーブや加湿器が稼働する日も多くなり、冬支度が始まりました。寒い日でも外で遊んだり、半袖で過ごしたりしている子供たちも多く、たくましさを感じます。

冬の感染症が流行する時期になりました。学校でも指導しますが、御家庭でも引き続き、手洗い・うがい・三密を避ける行動などの声掛けをお願いいたします。



感染予防 気を引き締めて！

連日ニュースになっているとおり、新型コロナウイルスの感染が拡大しています。宮城県の感染者数は連日2桁台で、近隣の施設でも感染者が確認されています。学校や職場に行くのに、感染が心配されることもあると思います。これまでの感染予防を一層気を引き締めて行いましょう。また、学校が学級閉鎖や休校になったとき、家族が感染したときなどを想定し、事前にどうするか話し合っておくことも今後必要になります。

新型コロナウイルスもインフルエンザも

自分にできる感染症対策 しっかり続けることが大事



人と一緒のときはマスク
ひまつを飛ばさない



人ととの距離をとる
(人混みは避ける)



石けんで手洗い
(定期的にこまめに)



栄養や睡眠をしっかり
体力をつける

家族に新型コロナウイルス感染が疑われる場合の家庭での注意点

他の家族と部屋を
可能なかぎり
分ける

できるだけ
限られた人が
お世話をする

できるだけ全員が
マスクをつける

こまめに石けんで
手洗いをする

部屋の換気をする

共用する部分
(取っ手、ドアノブ
等)を消毒する

体液で汚れた
リネン、衣服を
洗濯する

ゴミ(鼻をかんだ
ティッシュなど)は
密閉して捨てる

参考:日本環境感染学会「新型コロナウイルスの感染が疑われる人がいる場合の家庭内での注意事項」、厚生労働省「新型コロナウイルスに関するQ&A(一般の方向け)」

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの違い

	新型コロナウイルス感染症	インフルエンザ
症状の有無	発熱，咳，だるさ等の風邪症状 息苦しさ，味覚症状，嗅覚障害	発熱，悪寒，関節痛（ワクチン接種 有無などにより程度の差がある）
潜伏期間	1～14日間（平均5，6日）	1～2日間
無症状感染	数%～60% 無症状患者でもウイルスの量が 多く感染力が強い	10% 無症状患者ではウイルスの量は少な い
治療	確立した治療薬はなく，多くの 薬剤が臨床治療中	数種類の薬が治療薬とされている
ウイルス 排出期間	10日以内 ピークは発症1日前	5～10日（多くは5～6日） ピークは発症後2～3日
重症度	重症5～7% 軽症80%	多くは軽症・中等度
致死率	3～4%	0.1%以下

防寒対策に御協力ください。

新型コロナウイルス感染症が広がっている原因の1つとして、冬場の換気不足が指摘されています。学校では、教室に約25人～40人の児童が常にいる状態で、机も離す距離に限界があります。そのため、換気を十分にすることが必要であり、冬場でも常時換気することにしていきます。例年より、教室が寒くなる可能性がありますので、お子さんの防寒対策として、以下のことを御協力願います。

教室の寒さが心配なお子さんは、以下のことをお願いします。

①授業中に羽織ることができる、動きやすい防寒着（フリースやパーカーなど）を持たせてください。

体操着袋に入れて持たせてください。週末には持ち帰らせます。

②使い捨てカイロを持参させてもかまいません。

ただし、授業中はいじりません。使用後は学校で捨てず、家に持って帰ります。

③膝掛け・ストールなどは持ち込めません。①の服で対応します。

④ジャンパー，コート，ネックウォーマー，手袋などは教室では着用しません。

教室で着用すると動きにくくなるためです。また防寒具は頻繁に洗えないために、清潔ではありません。感染予防の観点からも教室へは持ち込みません。

すべての御家庭で以下のことを御協力願います。

- ・マスク着用・ハンカチ持参・体温チェックなどを引き続きお願いします。
- ・防寒着はあまり洗濯しないため、ウイルスが付きやすく、学校や家庭内に持ち込む危険性があります。できるだけ頻繁に洗濯して、きれいな状態で着用できるようにしてください。

インフルエンザの対応について（保存版）

学校において感染症が発生した場合、学校保健安全法第19条に基づき、他の児童への感染・蔓延を防止することを目的として、「出席停止」の措置をとります。インフルエンザも出席停止の対象になるものです。出席停止期間は欠席扱いになりません。インフルエンザにかかった場合は以下の対応をお願いします。

インフルエンザと診断された場合の手続き

- ① インフルエンザと診断されたことをすぐに学校に連絡してください。（☎394—2225）※発症日、主な症状（ウイルスの型）、受診先、医師の指示などをお知らせください。
- ② 治癒後の登校時期は、医師の指示に従ってください。
（基準：発症後5日経過し、かつ解熱後2日経過するまで登校できません。）
- ③ 体調が十分に回復し、医師に感染のおそれがないと認められましたら、下記の「登校願い」用紙にご記入の上、登校の際に持参させてください。（保護者の方が記入してください。）

※インフルエンザで欠席の場合は、感染を防ぐため、連絡帳等を近隣児童に直接届けさせることはいたしません。ポストも使用しません。急ぎの連絡は担任からいたします。

学級閉鎖になったら・・・

インフルエンザや発熱による欠席児童が学級に多くいる場合、学級閉鎖を行います。この場合は、前日に便りと一緒にメールでお知らせいたします。学級閉鎖を行っている期間は、お子さんがインフルエンザにかかっていなくても、その学級の児童は学校や児童館に来ることはできません。症状が出ていなくても「保菌者」になっている場合があります、周囲に感染させてしまう場合があるからです。外出も控え、できるだけご家庭内で過ごさせるようお願いいたします。

※「習い事」に行けるかどうかは、「習い事」の先生の指示に従ってください。

登校願い

仙台市立川前小学校長 様

年組・氏名	年 組	氏名	
出席停止期間	令和 年 月 日	～	月 日
病 名	インフルエンザ		

上記の児童はインフルエンザにより出席停止中でしたが、医師の許可ができましたので本日から登校許可をくださるようお願いいたします。

令和 年 月 日

保護者名 _____

受診した医療機関名 _____